

夕陽ヶ丘社宅



前述したように、現在は五ノ九の五棟は解体され、その跡地に三棟の三階建てマンションが建ち、広い駐車場には、カーポートが並んでいる。
地図中に木造二階建が三棟あり、「現在は浴場と集会場が新築された」と書き込まれている。この木造二階建は、前掲の鉄筋アパート建築以前の写真に写っているので、戦後早い時期に建てられたものと推測される。



取り壊される前の木造2階建てアパート

下は浴場新築の際に撮られた写真である『かみおか』昭和五九年四月「木造アパート二棟を壊し前の物置を後退させて、浴場と集会場が一つの建物となつて新築される」と説明されている。

夕陽ヶ丘社宅世帯数・人口の推移

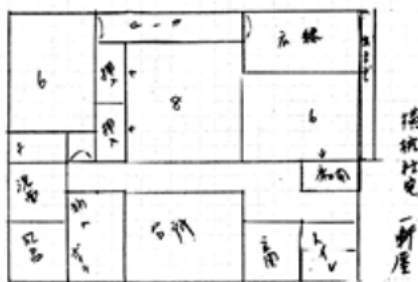
| 年代 | 世帯 | 人数 |
|-----|-----|------|
| S35 | 265 | 1167 |
| S45 | 296 | |
| S55 | 181 | 565 |
| S60 | 152 | 474 |
| H2 | 188 | 561 |
| H7 | 153 | 433 |
| H12 | 129 | 320 |
| H17 | 109 | 259 |
| H22 | 93 | 216 |
| H27 | | 152 |
| H30 | | 145 |

鉄筋アパートについては前述したので省略するが、この地図より以降、昭和四七年頃に木造二階建ての南側に二棟の三階建鉄筋アパートが新築されたので、全部で二三棟になった。
鉄筋アパート群の西の端に社員浴場取り壊し移転とかかかれているが、上記浴場が新築の際、取り壊され統合された。
◎社宅世帯数・人口の推移
表では昭和四五年がピークである。平成2年の増加は、昭和63

年に栃洞社宅が閉鎖され、全員が旭ヶ丘、夕陽ヶ丘へ移転したことによると思われる。
◎間取り
・横坑社宅

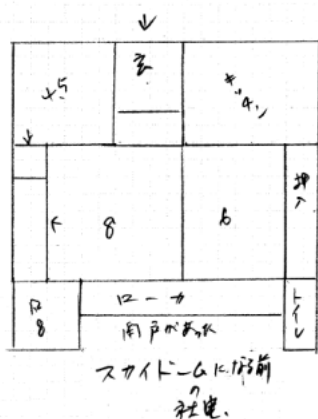
①横坑職員社宅の間取り
平屋、一軒屋
左図のように広い部屋が3間の外に、床の間や広縁や風呂がついている。
②木造職員社宅(取り壊され跡にスカイドームが建てられた社宅)
平屋、二戸建て
・①と比べてやや小ぶりであるが、風呂がついている。
・八才から二五才頃まで、横坑社宅、夕陽ヶ丘社宅に居た。玄関、六畳、八畳、三畳、台所、トイレ。七人家族(両親子ども五人)で、

夕陽ヶ丘社宅



横坑社宅(新屋)

狭くて大家族ゴゴゴの生活でした。
 ③夕陽ヶ丘鉄筋アパート
 ・パンダがある



スクイトムに1階前社宅

3 勤務の様子

(1) 出退勤のこと

昭和四二年まで、ロコがあった頃は社宅から土手を降りて行き、東町白山の停車場で乗車した。その後は徒歩か自転車鹿間まで通った。後、通勤バスもあった。

昭和四九年(一九七四)一月 月 鉾山で通勤バス運行(栃洞二便茂住五便)が始まっているので、夕陽ヶ丘の通勤者もこれを利用？

しかし、昭和四九年十一月一日、通勤バス廃止され、二便で通勤手当がつくようになった。

(2) 日常の過ごし方

- ・組合の選挙活動をよくした。
- ・野球で夕陽ヶ丘のチームがあり、近くの広場(現駐車附近?)や旭ヶ丘グラウンド練習した。
- ・映画鑑賞(洋画月四回)、ハイキング、その他

4 福利・厚生・文化」教育

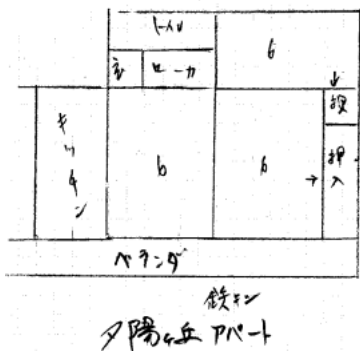
(1) 施設
 ・子供時代のことながら、神岡鉾山の社宅生活は恵まれていたと思う。

◎共同浴場

夕陽ヶ丘には三ヶ所浴場があった。

一つは横坑社宅にあった社員浴場である(次ページ写真)。閉鎖後、算盤塾として使用されたが、この写真の時点(平成二〇年頃)では空き家だったが、現在は取り壊されて姿がない。

- ・三階一二戸建て
- ・六畳三間は、上記「かみおか」の記事には現れていないので、記憶間違い?あるいは、夕陽ヶ丘東地区に建てられた三階鉄筋アパートか?
- 要、調査
- ④木造従業員社宅(昭和五〇年頃の思い出)
- ・三間式
- ・二階建てアパート
- ・二階の便所と二階の便所繋がっていた
- ・音がするので、鉄筋のようには落ち着けない
- ・水まわりの凍結が心配だった



鉄筋 夕陽ヶ丘アパート



共同浴場 夕陽ヶ丘 S40-50年代 神岡鉾山労働組合



横坑社宅にあった社員浴場

あと2つは、東地区の中心地と鉄筋アパート群の西の外れにあった。次の写真は中心地にあった旧浴場である。昭和三四年八月の『かみおか』に、次のように増築の経緯が記されている。

「夕陽ヶ丘浴場は昭和二七年(当時の社宅戸数は七八戸)に建てられたもので、その後社宅戸数が次々に建てられ、これに伴って人口が増加したために増築の必要が生じたものである。工事にあたっては将来の社宅増加を見込み、浴室および脱衣室の男女別間仕切りを取り外して男子用とし、女子用が新しく建築された。なお新旧の浴場を比較してみると、従来男子浴室七坪、女子八坪で、今度増築されたものは、男子一五坪、女子一六坪と大巾に増築されたものである。八月一五日に完成、入浴開始の運びとなつた。」

この旧浴場は東町バイパス造成のため、移転を余儀なくされる。「雪どけと共に東町バイパス関係の工事が始まるが、この工事に伴い、高原寮(東町)や社宅(夕陽ヶ丘)の取り壊し作業が進められている。いずれは、夕陽ヶ丘の共同浴場や物産もこわされるが、これに関して、浴場と集会場をセットした新建設構想がほぼ固まり、今秋完成をめざして近いうちに着工となる。建設予定地は、夕陽ヶ丘鉄筋アパート付近にある木造社宅をこわし、鉄筋二階建てに



現在の共同浴場

し、一階は浴場と集会場、二階に多目的の和洋両用の部屋を作る計画。特に浴場は夕陽ヶ丘社宅に現在2ヶ所あるが、これを一ヶ所に集中し、衛生的で一日の疲れをいやす快適なものになるよう配慮されている。なお、現在は枋洞通勤者の浴場が併設されているが、新築に伴い廃止をし、新浴場に入るよう職場の了解を求めている最中で、なるべく早く決着をつけなければならぬ問題も一部残している。いずれにしても、東町バイパスにより、夕陽ヶ丘一帯の再開発が進むことになり、調和のとれた、近代的な耐久構造の施設にする必要がある」(『かみおか』昭和五九年(一九八四)四月)

「かねてから建設中であつた夕陽ヶ丘社宅の浴場と集会場(併設)が完成し、一〇月二日に竣工式が行われた。浴場と集会場の総合施設は、浴場は平屋建て、集会場は3階建てで、チヨコグレーのツートンカラー仕上げのデラックスなもので、集会場の1階は10畳敷の大広間、二階は洋室と和室が一部屋ずつある。浴場は枋洞通勤者も共同使用することから、通勤者用のロッカーを設けているほか、浴室はタイル張りでなかなかきれいだ。また、湯をきれいに保つため浄化装置をつけるなど、利用者に喜ばれるよう工夫がしてある。『かみおか』昭和五九年一〇月)

◎集会場(旧)

この新浴場と集会場は現在も使われている。